



イベント 終了しました

古書で紐解く近現代史セミナー 第20回 大隈重信撰 『開国五十年史』編纂の意義について

キーワード	日比谷カレッジ
内容	特別研究室企画展示「『開国五十年史』に見る明治日本の国づくり自己評価～総論・政治・経済編～」関連講座。 明治維新を中心に日本近代史を研究する講師が、大隈重信が撰した書物『開国五十年史』の編纂目的とその意義についてお話しします。
日にち	2016年06月02日（木） 19:00から20:30
日にち説明	18:30開場
場所	4階 スタジオプラス（小ホール）
関連ファイル	案内チラシ
定員	60名（事前申込順）
参加費用	1,000円（千代田区民500円）
講師・出演者	鵜飼政志

プロフィール	■ 鵜飼 政志 (うがい まさし) 早稲田大学・駒沢大学・学習院大学講師 1966年生。博士(史学)。明治維新期の国際交流史が専門。早稲田大学大学院/学習院大学大学院修了。著書に『幕末維新期の外交と貿易』(校倉書房)・『歴史をよむ』(共編著、東京大学出版会)・『きのうの日本』(共編著、有志舎)、『明治維新の国際舞台』(有志舎)がある。 (早稲田大学エクステンションセンターWEBサイトより)
主催	千代田区立日比谷図書文化館
問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館 (03-3502-3340)
申込期間	2016年04月14日 10:00 から2016年06月02日 19:00
関連リンク	▶ http://hibiyal.jp/hibiya/lab0.html
発信日	2016.04.14

 印刷

 リストに追加

 ツイート

©2011 Hibiya Public Library. All Rights Reserved.